☆星野アストロスクール

星野村で星空マスターを育てよう

星野未来塾

（星野未来塾）

団体紹介　　星野未来塾

◆ 設立目的

村民自らが地域資源を掘り起こし、都市部から地方へ新しい流れを作り、2030年に、星がいっぱいの村に2500人の村民と関係者が集い、子や孫の時代まで明るい未来のある星野村を残すために持続可能な星野村を作りあげることを目的とする

◆ 設立　　2018年11月

◆ 会員資格　特にありません

HOSHI no MURA
2 0 3 0

（ 星野未来塾）

団体紹介　　活動実績

◆ 2018年10月から毎月1回「星野未来塾」を開催

- 目標「2030年21項目の星野村の未来像」
  - SDGsの取組み
- 21項目の未来像を実現するための「施策を３６項目」の実施
  - 広内の棚田の「棚田クリーン大作戦」草刈り
  - 法政大学学際宇宙ゼミとの協働
  - 星の文化館の活用・星野アストロスクールの実施
  - 空き家対策　・空家バンクへの登録
  - 子供教育支援　・星野川の水質、いきもの調査・田植え体験
  - 毎月「星野未来塾通信」の発行と村内全戸配布
  - 玉露摘みサポーター事業
  - 星野村のカシロダケ竹林整備支援

星野アストロスクール課外授業

（ 星野未来塾）

星のアストロスクール　とは

ビジョン	私たちは星野村の未来をつなぐ子どもの育成を目指します
活動理念	・子どもたちが星や宇宙に関する知識を学びます ・子どもたちに星野村に対する誇りと愛着を醸成します ・子どもたちが学んだことを他の人に発信します

（星野未来塾）

星のアストロスクール　活動内容

4月～5月	星野小中学校総合学習導入準備 ・　学校との打合せ ・　授業コマごとの担当割り振り	星野小中学校 法政大学 星の文化館
5月～7月	カリキュラム作成	法政大学 星の文化館
7月～12月	天文教育実施 ・　星野小学校8コマ ・　星野中学校5コマ	小学校5，6年生 中学校全校生徒
10月～‘23年1月	運営体制会議　7回～10回	法政大学 星の文化館 星野未来塾
11月	翌年度に向けたカリキュラム内容 授業実施内容打合せ	法政大学 星の文化館 星野小中学校
1月～3月	組織体制、次年度への引継ぎ	法政大学 星の文化館 星野未来塾
3月25日	星兄爆笑星空ツアー（課外授業）	星の文化館

（ 星野未来塾）

星野小学校5，6年生　授業内容

◆　法政大学学際宇宙ゼミ　増尾研究生、星の文化館指導員

- 星野村の資源として、星空と星の文化館があることを学ぶ
- 星の観測方法の1つとして望遠鏡を身近に感じるために望遠鏡製作
- 簡易分光器で観測体験
- 星を観測する面白さと星の文化館の大型望遠鏡を結び付け、天文台への理解を深める。

（星野未来塾）

星野中学校　全校生徒　授業内容

◆　星の文化館スタッフによる授業

➢　星野村の星空調査に関する課題を設定し、その調査へ取り組むことで郷土への愛着や誇りを高めるとともに、調査結果をもとに星がよく見える条件について考えることで課題解決を図る。

- 星座表の見方など
- 夏休み中に夏の大三角形を見つけて、その中の星の数を数える

➢　星や星座を他の人に発信することついて課題を設定し、シナリオ作成を通して課題解決を図る。

（星野未来塾）

3. 活動の成果

- 星野村には九州一大きな望遠鏡を備えた星の文化館があり、星野小・中学校とこの施設を利用したオリジナルのカリキュラムを授業に取り入れる事を進めて、今年は星野小学校で8コマ、中学校で5コマの授業を実施できた。

- 小学校5年生、6年生、中学校の夫々の授業内容も完成した。

  - 法政大学学際宇宙ゼミの学院生が一昨年から2年間星野村に滞在して、星の文化館、星野小・中学校と協議を重ね完成させました。

- 令和5年度からは、星の文化館が中心になり、この授業を続けていくことになった。

（ 星野未来塾）

4.　活動の課題

- 法政大学学際宇宙ゼミとの協働の継続。
- 法政大学学際宇宙ゼミの「空き家天文台」構想の空き家の確保。
- 星の文化館で継続するためのスタッフの確保。
- 手作り望遠鏡の購入資金の確保。
- 子供たちが頻繁に星の文化館に来てくれる環境つくり。
  - 夜の体験への交通手段など

（ 星野未来塾）

4. 今後に向けて

- 法政大学学際宇宙ゼミの「空き家天文台」の実現。
- 学校だけでなく、星の文化館をベースにした子供たちが気軽に天文に触れ交流できる場所。
- 星野村の学校だけのオリジナルの授業として村外にもPRしていく。
- 星野村の子供が故郷に誇りを持てるような教育を目指す。

（ 星野未来塾）